



～ご卒業おめでとうございます～



日 方 川

大樹高校PTAだより

第 131 号

令和4年3月1日発行

発行人 吉野 裕之

編集人 黒澤 和弘

木村 由美

播間 淑晃



3 A
長谷川 想

卒業を迎えて

この三年間、この大樹高校で様々なことを学び経験し、日々成長してこられたと思います。高校二年生の時から、一クラスとなり、行事のたびにぶつかり、あと二年本当に大丈夫かなと心配になる時期もありました。しかし、教室内の雰囲気も良く、行事の本番も必ず大成功に収め、私はその度に変わっているクラスだなど思っていました。

去年、今年は新型コロナウイルスの影響で活動が制限され、学校に来ることが出来なかったり、見学旅行の行き先が二度も変わったなど予想もしなかったことがたくさん起こりました。しかし、その中でも毎日笑顔が絶えなかった3Aのみんなは、将来大きな壁にぶち当たっても乗り越えていくと私は思います。

この三年間を支えてくれた先生方、親への感謝を忘れず、これから日々成長していきます!! 三年間ありがとうございました。



3 A担任
大寺 悠

卒業を迎えるにあたり

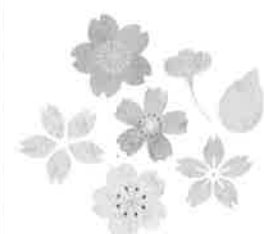
三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして、保護者の皆様におかれましては、この日を御祝い申し上げます。この学年が在籍していた三年間は新型コロナウイルスの影響もあり、計画通りに進まないことが多く、制限された中での学校生活ではありましたが、生徒達はそんな中でも最大のパフォーマンスは何なのかを常に考え、行動し、実行に移していました。

三年前に着任し、この学年の生徒とともに歩んだこの大樹高校での三年間。生徒は、授業や学校行事はもちろんのこと、進路活動やボランティア活動など一所懸命に取り組み、成果をあげてきました。最後の学校祭でのパフォーマンス、高体連での活躍はぜひ保護者にも観戦していただきたいかったです。また、心優しい生徒の集まりであり、些細なことでも気付いてあげられ、なおかつすぐに行動しよう、歩み寄ろうと一歩目を出すことが出来る集団でもあります。学校内のみならず校外においてもそれは発揮され、地域の方から感謝の手紙をいただくという学校でもありました。これは学校で教わったからできるというものではなく、

く、日頃から生徒一人一人が他者のことを考え、自分のこととして考えて生活を送っていたからだと思います。

四月から大半の生徒は大樹町から離れた場所でも生活することとなります。進学する生徒は学業に精進し、自分の目標を達成することができるよう努力を重ねるでしょう。就職する生徒は、初めてのことに戸惑いながらも社会人として社会に貢献することでしょう。住むところ、やっていることはバラバラになってしまっていますが、この大樹高校で三年間一緒に過ごしたクラスメイト、御世話になった先生、そしてここまで支えてくれた保護者のことを忘れず、活躍してほしいと思っています。いや、きつと活躍してくれる事でしょう。

最後に、学年の取り組みに御理解と御協力をいただきまして誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。



「大樹高校から未来へ」



校長

前田 英伸

本日晴れて卒業の日を迎えられた三年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。同時に、ほぼ二年間に渡って、新型コロナウイルス感染症対応による制約を受けながら、よく我慢をして勉学に励み、さまざまな場面で学校を支えていただいたことに、心より感謝申し上げます。保護者のみなさまにおかれましても、お子様の御卒業をお祝いを申し上げますとともに、三年間PTAとして本校に惜しみない御支援と御協力をいただいたことに厚くお礼申し上げます。

さて、卒業生のみなさん、いよいよ巣立ちの日が来ました。これまで、御家族・学校関係者・地域関係者等多くの方々に守られ、支えられながら、この日のために学びを続けてきました。今、人間の歴史は第五の段階に入ったといわれ、加速する技術的変革が劇的に社会全体を変えようとしています。時代に強い風が吹き、逆巻く潮がみなさんの行く手を阻もうとしています。この困難を乗り越えていくために、自ら立ち向かっていく勇氣（主性）と多くの仲間達と力を合わせていく信頼（協働性）を培ってき

「子曰」



PTA会長

吉野 裕之

（知之者不如好之者、好之者不如樂之者）（論語）
これを知る者はこれを好む者にし、これを好む者はこれを楽しむ者にし。これを何を知っているだけでは、好きなものを見つけて楽しむ、究めている人とはかなわぬ。それが仕事でも趣味でも、ものにめぐりあえたら、人生はどこまでも輝く。と、孔子はいっています。三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。三年間の高校生活はいかがだったでしょうか。学校祭、強歩遠足（今年から中止）、見学旅行、体育大会、合唱祭等思い

卒業する先輩へ



2A 高橋 智季

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方には、多くの場面でお世話になりました。T・F・E・Sでは分からない事や困って悩んでいる時、後輩である我々に手を差し伸べてくれて、他の行事では、我々にやる気を出させてくれ

卒業する先輩へ



1A 濱名 佳奈

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。そして、三年間お疲れ様でした。多くの三年生が私達一年生に分け隔てなく素敵な笑顔で接してくれたおかげで、不安だった高校生活を全力で楽しんでスタートすることができました。コロナの影響で制限された行事の中、自分たちのことだけでなく、後輩のことまで考えて行動してくれ、姿を見てさすがだと改めて実感するとともに、今後自分以後輩ができたときに先輩達と同じような行動ができるよう、忘れないようにしたいと思っています。私達一年生から見ると、三年生は、頼もしくかつこい存在で、四月から同じ学校に居ないとなると、とても寂しく感じています。先輩達は高校を卒業するわけですが、まずは自分を大切にしたいし、嫌なことでもたくさんあると思いますが、腐ったりせず、自分に自信を持って笑顔が素敵な大人になつてほしいと思います。この度は、卒業おめでとうございます。

PTA事業部「卒業式を迎えるにあたって」とこの1年間を振り返って



総務担当 黒澤 和弘

今年度も総務部の活動はコロナの影響で不甲斐ない年となりました。生徒、保護者の方々にPTA事業にご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。さて、三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。新しい三年生の皆さんは、新たにスタートする高校生活に胸を躍らせ入学生されたことと思います。突如現れたコロナによって高校生活が一変したことで、悔しい思い、歯がゆい思いを幾度もされたことでしょうか。しかし、どんな状況でも仲間と保護者、教員の

方々と共に耐え、打開策を模索し、創意工夫し、努力を重ね、新たなことに挑戦し、乗り越えてきた皆さんの姿は本当に素晴らしいものです。皆さん、この三年間での経験に自信と誇りを持ち夢に向かって大きく飛躍し続けていってください！

研修担当 大木 忍

今年度のPTA研修は「コーチング」をテーマに研修を行いました。講師の方からは、親子の間でよくある会話を例にコーチング的な関わり方について説明していただき、参加者同士でペアを作って実践練習を行い、とても充実した内容でした。

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナの影響で、学校生活が思うようにいかない事も多くあったと思いますが、春からはそれぞれの道に進むと思いが、辛い時、苦しい時は、高校生活での「学び」を活かして、たくましく乗り越えていって欲しいと思います。頑張ってください。

生活担当 伊藤 則子

卒業される生徒の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。昨年同様、今年度につきましても新型コロナウイルス感染症の影響がありました。制限・自粛、そんな新しい生活様式にも少しずつ慣れ、学校生活を送られてきたことと思います。やはり、

編集後記

長谷川 文

今年度と同じ様には学校行事を行うことはできませんでしたが、生徒主体で学校祭や体育大会など無事開催され、そこに共に助け合い切磨きすることができたのではないのでしょうか。卒業後も三年間学んできたことを活かし夢に向かって頑張ってください。応援しています。